

中国人のオーストラリアでの歴史について描いたエキシビジョン「Clestial City」のオープニングにて NSW州首相の言葉

言論の自由を守るにあたり、我々は人種や宗教差別に対する防御を低めてはいけません。偏見は、たとえそれが意図的、または無意識のうちでも、決して許されるものではありません。

人種や宗教をベースにした差別や悪口は、何があっても許されることではなく、オーストラリア社会にはそのような、嫌悪を抱くような行動や発言の場はありません。オーストラリアは多国籍文化であり、200年以上にもわたり、世界各国から移民を受け入れてきました。このマルチカルチャーこそが、我々の州の基盤であり、過去の、そして未来の成功の鍵を握っています。この土台を壊すようなアクションは避けるべきであります。どの政府も団体も市民も、偏見や嫌悪が起きないよう油断すべきではありません。我々の未来はこれにかかっています。

オーストラリアが掲げるハーモニーデー

Everyone Belongs.
It is a day of cultural respect
for everyone who calls Australia home.

1945年から現在までの間、約200カ国の国々から7億2000万人を数える移民がオーストラリアに訪れている。オーストラリア総人口のうち45パーセントは、国外生まれ、もしくは両親のどちらかが国外で生まれている。毎年3月21日は、国連の人種差別撤廃の日に合わせ、オーストラリアでもハーモニーデーを掲げて、人種差別をやめ、それぞれの文化や宗教、出身国の垣根を超えて、国民全員がお互いを理解し合い助け合う日としている。5万5000のイベントが各地で催される中で、チャイルドケアにおいてもハーモニーデーを祝し、幼少からその素晴らしい価値観を学ぶことを重要に考えている。先住民や移民などを含めすべての国民がわけ隔てなく公平な扱いを受け、公平なチャンスが与えられ、それぞれが尊重されること、またすべての国民が帰属意識を持てるようにすることなどがモットーに掲げられている。多様性文化であることの恩恵をすべての人が理解し、享受できるように、国を挙げて取り組んでいる。他国と比べても、オーストラリアで他国の人と、この国の法律のもと暮らしている私たち移民にとっては、大変恵まれた住みやすい国であると言える。

「公聴会まであと12時間というところで集まつた『点』の意味が線を作り、危機を目前にした土壇場で、『線』と『線』が繋がり始めた。なでしこアクションを中心にして集まつた署名も90000を超えると、無数の『線』が次第に大きな『面』を形成した」とその夜を振り返る。その一方で、当日のマジョリティが母親の方たち女性で、男性の姿が少なかつたことが今の日本を象徴しているのではないかとの声もある。普段はおとなしくて忍耐強く、戦うと決まればこうして一致団結するのが日本人のよさだが、場合によつては普段からコツコツと主張していくことも大切なことだと感じた。

The image shows the exterior of the Museo de la Ciudad de La Plata. It is a large, two-story white building with a tiled roof. A prominent feature is a central arched entrance with decorative stonework above it. To the right of the entrance is a tall, square tower with a clock face on each visible side. The building is surrounded by green trees and shrubs. In the foreground, there is a paved area and some low stone walls.



ストラスフィールド

人口約3万7千人の同市は、韓国の加平郡（カピヨンゲン）との姉妹都市。意外にも韓国系住民を上回る中国系住民が19.6パーセントと最も多く、韓国系が9.8パーセントを占める。市議は市長を含む7人で、韓国系のサン・オク副市长がいる。慰安婦像設置を推進している。

「いつた事実を聞いた」ことがない」と主張。中国系代表は「米国など各国に慰安婦像はある。中・韓・豪の慰安婦スリーシステーズの像をつくり観光名所に」とアピールする。

またこの日、戦時中日本軍により性的奴隸にさせられたとされるジャン・ラフ・オハーンさんの娘、キャロル・ラフさん(62)と孫娘が公聴会に現れ、アデレードに住む母親に代わり意見を述べた。「21歳で日本軍より強制的に性的奴隸とさ

左記で NSW 州首相が発した言葉の
ように、「マルチカルチャーこそが未来の
成功の鍵だ」ということに気づき、オース-
トラリアが掲げるハーモニーのよう
に、出身国の垣根を超えて、国民全員が
お互いを理解しあい助け合う日を目指
したい。

市議会前夜の3月31日、ネットワークの代表者が当日のスピーチに集まつた彼らは、前日の一夜漬けで当日のスピーチ内容や割り振りなどを決めて公聴会へと望んだという。土壇場で“点”と“点”が繋がつた瞬間だった。

当日の公聴会には30人強の日本人が駆けつけた。日本側のフープークは、相手側の日本人批判に同調するにむく、8歳の純粋な意見を無視することができない。反対意見が少なければ通ってしまう可能性も十分に考えられる。

いう判断をされてしまうこと危機感を感じていたという。確かに中韓サイドは組織力もあり、声も団体もでかいので、政治家は選挙を考えてこれら意見を無視することができない。反対意見が少なければ通してしまう可能性も十分に考えられる。

像設立は日本人や日系住民への差別を助長する」と述べ、友人の女性が中韓の友人から敵対的な扱いを受けたと発言。「慰安婦像で日本人への差別が生まれれば、生まれ育った大好きなオーストラリアを離れざるを得ない」と締めた。日系以外の市民も「特定の人種攻撃で、多様な民族が調和してきた努力が台無しになる」と相次いで懸念を表明した。一方、韓国系住民は「アジアの女性20万人が日本軍の性奴隸にされた。像は暴力防止の象徴になる。グレンデールでは人種のトラブルや日本人に対する偏見が少なくなった」と主張した。

れでいるので、そういった像がオーストラリアに建つことに賛成している」と主張した。中韓サイドは対立を、日本サイドは融和を大義に掲げたスピーチの展開が印象深かった。

市議会は8人の意見を聞いたうえで非公開審議を行い、判断を州や連邦政府に委ねるという結果を発表した。

不^トニシテハ、ル市議会は、中国系と韓国系の「ミコニティ」が連携して同市に慰安婦像設置の嘆願書を出したことを受け、4月1日に設置の当否をめぐる初の審議会を開催した。非公開審議に入る前、地域住民ら8人が、賛成と反対の立場から意見を表明した。

われ、3ヶ月間の暴行後、強制収容所に送られるも、この事実を話すと家族が危険にさらされると脅された。50年間、母親はこの経験を誰にも話すことはなかつた。しかし同じく被害を受けた韓国人女性たちが、正義のための訴えを起こすのをテレビで見て活動を開始した。世界では戦死した兵士の像は建つてゐるが、こうし

第2回 従軍慰安婦像をシドニーにも設置？
ストラスファイールド市議会が
4月1日に公聴会を開催！

危機を目前に点と点が繋がり線となる
ジャパンコミュニティネットワーク（JCN）が発足

「グレンデールの民間団体「歴史の真実を求める世界連合会」(G A H T)の役員に、インタビュー」

慰安婦像設置計画が、豪州においても具體化されようとした瞬間、この事態にひるまずに立ち上がったのは、既日の日系「ミニーティ」ではなく、子供たちの今と将来を憂えた、ふたつの母親グループからなる母親たちだった。現在シドニーにある存続の日系「ミニーティ」はあくまでも「親睦」を目的としたもので、「政治活動には関与しない」というスタンスがあるから」とJCN代表者は説明する。

カリフォルニア州ロサンゼルスに本拠を置く歴史の真実を求める世界連合会GAHTは、グレンデール市の慰安婦像の撤去を目指して、グレンデール市とそのシティマネジャーに対し、米国連邦政府の地方裁判所に提訴した組織だ。今回弊紙は、GAHTの役員にコントラクトを取り、先月号の弊紙インタビュー内容で、グレンデールに関して真実を見定めたい部分をピックアップして投げかけた。

米国グレンデールでの銅像建立に対し、日本側のさまざまな妨害工作（市長などに対する、日本国会議員や企業、日本大使などによる、投資撤回などの脅迫、経済制裁などの卑劣な工作）があつたと前回の弊紙インタビューで、ストラスフード慰安婦像を推進する中心メンバーの代理人は答えているのですが、これらのこと実はあつたのでしょうか。

それはまったくありえないことです。日本企業、大使館、国會議員はグレンデールのカウンシラーと基本的に直接関わっておりません。在日サンゼルス日本国総領事館も『外交問題化しない』という対応でしたが、新美総領事だけは、GAHT設立以前の私どもの懸念の呼びかけに対し、グレンデールに足を運び市長に会ってくれました。

グレンデールの慰安婦像設立のあと、日本人であるというだけで子供たちがいじめに遭っているということを耳にしました。それに対し代理人人は「全然ない」とで、「日本人特有の嘘」と回答していますがこれについてはいかがでしょうか。

前回の弊紙「インタビューア」内で、「日本軍が世界中で強制連行をした」という証拠がいくらでもある」という風な主張を受けましたが、ゲレンデールの推進団体はいったいどのような証拠を提示しているのでしょうか。

そもそもＫＡＦＣは、なぜグレンデールに標的を合わせて推進『カリフォルニア州韓国系米国人フオーラム（ＫＡＦＣ）』という推進グループが実行しているのですが、彼らは具体的な証拠というものはひとつも出していません。

したのでしょうか。

グレンデールはロサンゼルス都内に位置する都市としては、ロサンゼルス、ロンゴビーチに次いで3番目に人口の多い都市で、とても素晴らしい場所です。そして6つの姉妹都市があり、ひとつが東大阪で一番古いものになります。新しい姉妹都市に2つ韓国との都市があります。慰安婦像を進めるためにわざわざ日本へも言っています。ここに2つあります。

ルニアに本部を構え、中国系在米反日組織の「世界抗日戦争史実維護連合会」がバツクアップして、ノウハウを提供し、韓国の組織を操っているとも言われています。

る。表し、米国各地での慰安婦像の設置を今後も推進すると宣言している。

グレンデールの慰安婦像の碑文には『20万人を超える少女を強制動員』といつ表記がありますが、推進派はその20万人という数字をどのようににはじき出されたのでしようか。弊紙インタビューでは、『当時日本巡査が来て女の子を連れて行つた家庭に聞いて統計を取つた』という主張を受けているのですが、グレンデールでは20万人という数字について、どのように公式な説明を受けていますか？

これについても一切の根拠を聞いたことがありません。はじめは韓国人のみが20万人と言つていました。今ではアジア人全体で20万人と変わっているようです。

「碑文は市議会で承認されていくなく、手続きに瑕疵（かし）がある」と主張されていますが、市議会では、事前に掲載内容の確認はしなかつたということでしょうか。

親日という印象を持つウィーバー市長ですが、像設置についてもともと反対の意見だったと聞いています。像の設置によって差別的な問題、国際的な政治問題に繋がるという懸念はなかったのでしょうか。

彼らはもともとセントラルパーク中央公園を大きく変えるプランを予定していましたので、「それまでは建てない」という意見を初めから言っており、設置後は、「一度市議会で決まったことなので撤去されることはない」と、2月25日の市議会でもコメントしています。像が建つ前はK A F Cが頻繁に市長たちを接待していましたようですが、ウイーバーさんは一度も参加していなかつたようです。元市長のフランク・クインテロ氏は、市長時代からソウルに招待されるなどし、南鮮系組織をバッタに持つたフテン系の市議です。トルコのアルメニア人大量虐殺の歴史を利用して、アルメニア人市議も引き込んでいます。女性市議ローラ・フリードマンも彼らの話だけで判断していました。

GAHTは2月21日に、訴状を口サンゼルスの米国連邦地方裁判所に提出。市側は提訴された直後に市議会公聴会などで、すでに争う姿勢を表明し、連邦地裁に「表現の自由への挑戦」とする書面を提出している。GAHTは勝訴して判例を作り拡散防止を目指さしているが、その背景には、訴状作成までにすでに13万ドルの弁護士費用が掛かっている。第一審を1年と考えて、それを戦いぬくには弁護士費用だけでもかなりの費用が必要とされることは想像にたやすい。サポートに興味がある方は下記ボーナムページから詳細を確認してみてほしい。<https://gahtjp.org>

なお次号では、前回の弊紙インタビューや内で疑問が残った歴史的検証について、正しい歴史を次世代に繋ぐネットワーク「なでしこアクション」から、慰安婦問題に関する専門家を紹介いただき、同形式で質問をぶつける予定だ。

慰安婦像の米国カルフォルニアがある日本人の母親のメッセージ

ここに紹介する文章は、家族と共にカリフォルニア州グレンドール市近郊に住む日本人主婦から、オーストラリアに住む日本人へ対する貴重なメッセージである。6、7歳の幼い子供から大人までの多くの在米邦人が、日本人に対する誤解や人種偏見に基づいた不当な嫌がらせを受けていることが綴られている。貴重な内容となっている。

親愛なる皆様

私は、米国在住の3児の母親である日本人主婦です。オーストラリアにお住まいの皆様にお願い致します。もし、今後ご近所に韓国系や中国系の一部の人たちによって慰安婦像の設置が提案された場合には、地域のためにも子供たちの将来のためにも、すぐに対抗の意思表明をしていただきたく存じます。

設置推進派の人たちは「慰安婦像は第二次世界大戦の時に被害者となつた女性たちを悼む為の平和記念物だ」と主張しています。私自身、ひとりの女性として、そして二人の娘を持つ母親として、戦争で被害に遭われた女性たちのことを考えると、深い悲しみが心の奥底から湧き起ります。しかし、慰安婦記念物を公園や広場のような公共の場に設置することは、まったく次元の違う問題です。現在、地域一緒に生活している日本人のほとんどが先の戦争時には生まれてすらいなかつたというのが現状なのに、なぜ、当時生存すらしていなかつた日本人を責めるようなことを今さらするのでしょうか？ 慰安婦像の設置は、国家間の戦後処理の問題を地方都市に意図的に持ち込むといった意味において非常に不適切であり、断固反対しなければならないと思います。ある特定の人種に的を絞つて誹謗するようなやり方は根本から間違っていると思いますので、私はそれに対して強く抗議いたします。

日本人や日系人は、お住まいの地域ではマイノリティーかもしません。しかしだからといってグレンデール市が昨年やったように、その声を無視してよいということにはなりません。住民の方だけに肩入れするという姿勢を取った結果として、グレンデールの地域「ミコニティ」における人種問題は、日増しに深刻になってきています。慰安婦像反対派と賛成派の両方によるホワイトハウスへの請願運動については、ご存知でしょうか。また、慰安婦像撤去申請を巡る裁判沙汰もあり、この裁判は今後数年間、継続審議されるだろうと言われています。他にも同様の裁判が起ることも考えられるでしょうし、今のような状況では何が起こっても不思議ではないと皆が噂しています。

今のグレンデールは、怒りや憎しみや不信感で溢れています。間違つても「平和な街」とは言い難いと思います。それと対照的

「壊す」という理由で却下しました。そして、本来の静かで平和な地方都市の佇まいをそのまま現在も保っています。

慰安婦像や碑が次々と設置されている米国各地では、6、7歳の幼い子供から大人までの多くの在米邦人が、日本人に対する誤解や人種偏見に基づいた不当な嫌がらせを経験しています。中国系や韓国系からだけでなく、ヒスパニック系や白人の人々からも「日本人である」という理由で不当に蔑まれ始めていました。私も家族も戦後世代です。戦争に直接関与していないにも関わらず、個人のレベルでその責任を追及され、不当な人種的差別を体験させられている、という今の状況に対しして心から憤りを感じています。世間の人々が、本当にこのような人種問題を将来に残したいと思っているのか、つくづく疑問に思います。

最後に、これまであまり語られたことのなかった話を致します。この話を持ち出すことは、随分と躊躇いがありました。しかし、同じ日本人女性として、誰かが同胞の女性たちの戦争被害についても言及しなければならないと思うに至りました。私は、誰であれ、第一次世界大戦における女性の性被害について論じるのであれば、日本人の被害者たちのこともきちんと知っておいてほしいと思うのです。第二次世界大戦末期に満州から朝鮮半島を南下して引き揚げてきた日本人の女性たちがいかに残酷な目に遭わされてきたのかについては、あまり一般には知られておりません。数々の証言によれば、日本人女性たちを襲ったのは、ロシア兵、そして韓国人や中国人の男たちです。戦争末期には朝鮮半島に住む日本人女性たちを守るだけの力はもはや日本軍にはなかつたのですから、日本人の女性たちがどのような過酷な仕打ちをされたのか、容易に想像がつくと思います。命を落とされた女性も多かったとのことです。このことについてさらに詳しく知りたいと思われるようでしたら、『一日市保養所』について調べてみてください。

私は、韓国、中国、オーストラリアの女性だけでなく、アジアとヨーロッパのほとんどの国の女性たちが、先の戦争の被害者であります。朝鮮半島から命からがら逃げてきた多くの日本人女性たちも当然、その中に含まれます。ですから、言葉にできないほど過酷な運命をくぐり抜けてきた、これらの日本の女性達の声にならない言葉も決して聞き逃さないでいただきたいと思うのです。

オーストラリアの美しい街中に慰安婦像を建てるによつて、こういつた歴史的悲劇の場面を繰り返し、人々の心の中に再現させないでいただきたいと切に願っています。グレンデールの慰安婦像を見るたびに、忘れられてしまつてゐる日本人女性の被害者たちのことを思い出し、心に痛みと怒りを覚えるからです。繰り返し日本を非難し謝罪を要求する元韓国人慰安婦の方々とは対照的に、朝鮮半島引揚者である日本人女性の多くは自らの受けた性的被害に関して沈黙を守り続けています。私が慰安婦像設置の提案を却下していただきたいとストラスフイールド市にお願いした理由は、ここにあります。戦争における女性の性被害は慰安婦問題に限定できるものではなく、どの国においても広く加害者と被害者が混在しているという真実を重く受け止め、慰安婦像設置という形で安易にこの問題を多人種が共生する地域社会の中に持ち込まないでいただきたいと思ふからです。

最後までこのメッセージを読んでくださいまして、有難うございました。私の気持ちや考え方をご理解頂けましたら幸いです。我が子のことだけでなく、これからの方々の若い世代のことを考えますと、私は今後のことがとても心配です。慰安婦像を設置し、ある特定の人種を非難する行為は決して「人道的」ではありません。それは、地域の人々の中に葛藤や憎しみをよりかき立てる方向に作用するのです。

口サンゼルス在住のひとりの母親より

毎日の美しい髪の手のために

AMBIA^{NCE}[®]

ヘアのためのメイキヤップ

- パウダーフォームのドライシャンプー
 - 髪の色に合わせて選べる5色
 - 余分な皮脂を吸収して髪の毛を清潔な状態
 - 髪のボリュームアップ
 - 気になる白髪や根元をブレンド
 - ジムの後や旅行中の携帯に便利
 - 動物性素材は一切使用されていません

www.gmbianceaustralia.com.au



